

# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2026/04/06号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



## トランプ演説を受けて、110ドル台に乗せる

NY原油先物相場は、1バレル=110ドル台まで値上がりする展開になった。週前半はイラン戦争の終結期待を背景に、一時96.50ドルまで下落した。しかし、4月1日にトランプ米大統領が行った演説でイランに対して今後2~3週間、激しい攻撃を行うと警告したことで押し目買いが入り、高値は113.97ドルに達した。終値ではイラン戦争勃発後の最高値を更新している。

イラン情勢は大きく揺れ動いている。週前半はトランプ米大統領が2~3週間で戦闘終結の見通しを示したことで、イランのペゼシュキアン大統領が停戦の意思を示したことが材料視され、原油相場は軟化した。この流れで、4月1日のトランプ米大統領の演説が停戦期待を強化する展開が想定されていたが、実際には攻撃を強化する方針を示したことが、原油市場に混乱をもたらしている。先行き不透明感の高さから、期近限月に大きなリスクプレミアムが加算された。引き続き湾岸諸国の原油生産・流通環境悪化への警戒感は強い。

米エネルギー情報局 (EIA) 発表の米石油在庫 (3月27日時点) は、原油が前週545万バレル増、ガソリンが59万バレル減、石油精製品が211万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレーム) をお読み下さい。

## 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

## 【展望】

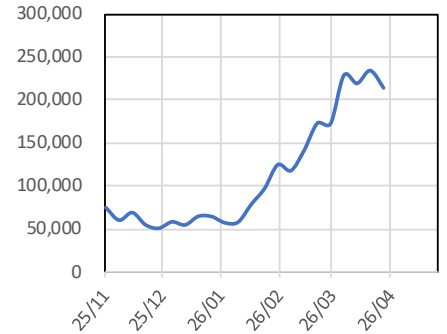
## WTI原油は期近の乱高下が続きやすい、イラン情勢に左右される

イラン戦争の先行き不透明感は強く、期近限月は乱高下が続きやすい。トランプ米大統領は停戦に向けて動き始めており、市場でも4月中旬から下旬にかけて米軍のイランに対する攻撃は終了するとの見方が強い。ただし、停戦合意が可能なのか、ホルムズ海峡の封鎖が解消されるのかなどは不透明感が強く、期近限月では大きなリスクプレミアムの上乗せが維持されやすい。現物相場の高騰が進むと、供給不足による値上がりリスクも警戒される。3月9日に付けた高値119.48ドルを上抜く可能性も払拭できない。

イラン戦争はどのような動きを見せるのか予想が難しい。少なくとも目先2~3週間は米国が激しい攻撃を続ける可能性が高いため、イランの反撃を警戒する必要がある。タンカーや湾岸諸国のエネルギー関連施設に大きな被害が発生すれば、原油相場は吹き上げる可能性がある。イエメンの武装組織「フーシ派」の参戦を受けて、サウジアラビアの代替輸送ルートであるバブ・エル・マンデブ海峡や、サウジアラビアの東西パイプラインなどが攻撃を受ける可能性にも注意が求められる。

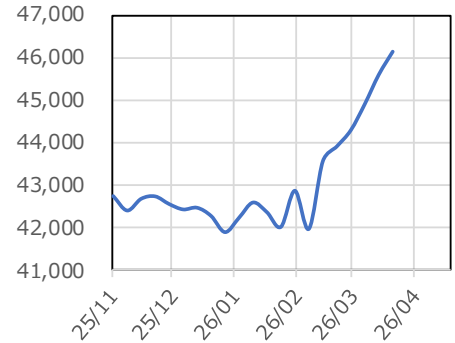
一方、3月下旬以降は期近限月が急伸しても、期先限月は伸び悩む傾向が目立ち始めている。期近高・期先安となる場面もみられ、短期的な需給の混乱を織り込みつつも、中期的な需給・価格の安定化を織り込み始めたことがうかがえる状況にある。限月間で価格水準が大きく異なる展開に移行し始めたことには注意が必要だ。トランプ米大統領などが改めて停戦に向けて前向きな姿勢を見せると、100ドル割れを試す可能性もある。引き続き、上下双方に大きめの値幅を想定したい。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



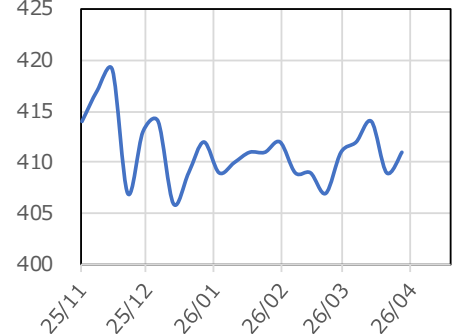
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

## 【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒104-0033 東京都中央区新川1-3-21 BIZ SMART 茅場町 321号

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

## 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

